

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点	
情報	情報I	2	必修科目	
指導目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。			
教科書		副教材等	添削指導	面接指導
新編 情報 I			6回	4 単位時間
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無	☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし	
添削指導（レポート）				
回	学習内容		対応する 面接指導の回	提出期限
1	・情報という用語の意味を理解する。 ・メディアという言葉の意味と、3つのメディアについて理解する。 ・メディアリテラシーが何か、なぜ必要なのかを理解する。 ・問題解決の5つの段階を理解する。		1	5月13日
2	・ネットコミュニケーションのメリットとデメリットを理解する。 ・実名の特徴と匿名の特徴を理解する。 ・デジタルとアナログの違いを理解する。 ・デジタルの特徴を理解する。		1	6月6日
3	・コンピュータを構成する五大装置について、具体的な名称と機能を理解しているか。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの関係を理解できているか。 ・3つの基本論理回路での出力を理解できているか。		2	7月4日
4	・情報通信ネットワークで用いる基本的な用語を理解している。 ・インターネットの仕組みが理解できている。 ・自宅や学校からどのようなルートでインターネットにアクセスしているのか理解している。		3	10月21日
5	以下の実習項目について、重要なポイントが理解できている。 ・発想法 ・情報検索のコツ ・インタビューの留意点 ・マイルール作成方法 ・言葉で図形を伝達する方法 ・光の三原色 ・データ量の計算 ・ピクトグラムの作成		4	11月11日
6	以下の項目について、重要なポイントが理解できている。 ・文書処理ソフトウェア ・表計算ソフトウェア ・プレゼンテーションソフトウェア ・電子メール ・色彩 ・情報に関連する法律 ・問題解決のツール ・文字 ・ファイル形式		4	12月5日
面接指導(スクーリング)				
回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		情報とメディアの特性を理解する。また、インターネット利用におけるマナーやルール、法律の知識を身に付ける。さらに、ネットコミュニケーションのメリット・デメリットを把握し、実生活における適切な振る舞い方について考察する。	各学習センター	6月
2		メディアリテラシーの定義とその必要性を理解する。また、問題解決における5つの段階や、コンピュータを構成する五大装置の具体的な名称と機能を習得する。さらに、基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの関係性、および3つの基本論理回路における出力結果について理解を深める。	各学習センター	6月
3		情報通信ネットワークにおける基本的な用語や、インターネットの仕組みについて理解する。また、自宅や学校からどのような経路でインターネットへアクセスしているのか、その具体的な通信ルートを把握する。また、基本的なプログラミング技能を身に付ける。	各学習センター	11月
4		発想法や情報検索のコツ、インタビューの留意点、マイルールの作成方法を学ぶとともに、言葉による図形伝達、光の三原色や色彩・文字の表現、データ量の計算、ピクトグラム作成といった各種実習の重要ポイントを理解する。また、文書処理、表計算、プレゼンテーションなどの各種ソフトウェアや電子メール、問題解決ツールの活用方法を習得し、情報関連法規やファイル形式に関する基礎知識を把握する。	各学習センター	11月
多様なメディアを利用した学習				
計画段階では実施予定なし				
試験				
回数	試験範囲		実施場所	実施日
1	レポート1～3		各学習センター	9月
2	レポート4～6		各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準				
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。				
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。				
その他				
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。				